

ギャップ
おじさん
TRPG

サンプルシナリオ



—ガラムサイト—

《妖精眼》

GR
OJI-SAN
TRPG

《妖精眼》

【シナリオスペック】

PC人数：1～5名

脅威ランク：2～5

【選択追加ルール】

スキルルール

書籍版掲載のPC拠所・シナリオ拠所を採用するなら、脅威のランクを1ずつ上昇させて構いません。

シナリオ拠所は**安藤**とするとよいでしょう。異音フェイズは安藤が黒服に声をかける、という形に変更になります。

【ソロ改変】

ソロシナリオに改変する場合は、書籍版掲載のPC人数による行動回数を参照しましょう。

追加ルールは、シナリオ拠所を採用し、シナリオ拠所は**安藤**とし、脅威ランクは2となります。

【今回予告】

君たちの平穏を崩すのは、何も悪意ばかりではない。

「君は素晴らしい能力を持っている。ぜひ、私に研究させてくれないか」

笑顔でそう言い放った男は、無邪気に、何の悪意もなく。

けれど、その行為は危ういものだとは彼は気づいていない。

……忍び寄る魔手にも。

【ストーリー】

研究者が純粋に興味を持つ、という一風変わったシナリオです。もし、親しい間柄で遊ぶのであれば、それだけのシナリオで終えてもいいでしょうが、やはりわかりやすい脅威、打倒できる敵というものがあつたほうが、セッションの運営は簡単です。知りたがりの学者が、PCたちだけでなく、より危険な相手と接触をしてしまう、というのが大筋の流れです。

勿論、PCたちからすればそんな学者、助けるいわれはありません。魅力的なキャラクターとして接するのはもちろんですが、それ以上にPCにとって不利益を強調しましょう。具体的にはPCたちの能力の詳細などです。

脅威は単純に悪の魔法使いです。召喚や憑依術を駆使し、そのための生贄を欲するわかりやすい悪人です。が、しかし。今回のシナリオでは彼女は明確な目的を持っているわけではありません。たまたま研究者に声をかけられ、なし崩し的にPC達お接触を持ってしまったにすぎません。過去に悪事を行っていたことは間違いありませんが、彼女も言ってみればPC達と同じく、巻き込まれてしまった側です。シナリオの焦点は、研究者の安藤をどうするのか。これに付きます。

彼にもう、関わらないようにとくぎを刺すのか、それとも身内として抱き込むのか。

セッションの流れ次第で変化をつけると良いでしょう。

【異音フェイズ】

異音フェイズの冒頭は個別シーンから始まります。

安藤を名乗る男性が、PCたちにそれぞれ個別にインタビューをお願いします。

安藤「あのう、わたくし、安藤といいまして……大学で講座なんかを持たしてもらっているんですが」

安藤「貴方の能力はすばらしい、ぜひ、いろいろお話を聞かせてもらえたらと思ひまして」

ここでPCの異能特技やスキルからいくつかをチョイスして、そこを褒めましょう。

ルールの処理として、この安藤にはPCのキャラクターシートが見えている、と明言して構いません。

安藤「あ、すいません。ちょっとこの後用事があるので、またの機会に続きを…」

といって退散したあと、安藤が黒いフードをかぶった、見るからに怪しい服の人物に声をかけているところで異音フェイズは終了となります。

【脅威データ1】ランク2～5

名前：深淵 出自：魔法使い 性別：男？

特技：《憑依》《召喚》《命令》《触手》《超握力》《当身》

ランク2：『サモン』『ポゼッション』

ランク3以上で追加：『オーダー』

ランク4以上で追加：『※パージ』

ランク5以上で追加：『殺戮』

ソロ：『サモン』『ポゼッション』ランク2

補足：安藤と接触している魔法使いです。基本戦術は単純で、狂騒フェイズで黒服の情報が開くまでは、安藤がPCたちに誘いを仕掛け続けます。これは純粹に「それだけの能力があるのに、なぜ〇〇なんですか」と無意識にあおっていく、という形を取りましょう。黒服の情報が明らかになれば『サモン』『ポゼッション』を使用して、ひたすらに攻撃分野の特技を増やします。このとき、安藤とセットで描写すると良いでしょう。安藤が力を見たがって、というような演出をすれば、それだけで十分です。また狂騒フェイズでPCの判定の際、『オーダー』を使って判定を妨害することもできます。ただし、どのスキルもコストが1とかかるため、闇の量には気を付けましょう。ランク5の際は『殺戮』を行い、闇を溜めるのを忘れずに。



【情報】ランク2

項目1：黒服 指定特技：召喚

公開タイミング：異音フェイズ

安藤が接触していた黒服は、『深淵』と名乗り、魔術結社『クトゥルフの眼』という組織に所属している。

憑依術と召喚術に優れるが、その術には生贄を必要とする。

その証拠に、黒服と親しくしていた人物の多くは失踪しているとのうわさがある。

項目3：深淵 指定特技：命令

公開タイミング：項目2黒服を開示した次のサイクル

深淵は安藤について興味はないが、その知識に興味を持っている。

具体的にはPCたちのステータスを知るチャンスと考え、積極的に接触を持っている。

実は女性で安藤のアプローチには正直困っている。

【情報】ランク3

項目1：安藤の素性 指定特技：憑依

公開タイミング：異音フェイズ

某大学で生物分野の講座を受け持つ准教授。霊感じみた勘と洞察力を持ち、興味があることには一直線という人間。

そのため女房に愛想を尽かされてバツ1。黒服に好意を寄せているが、相手にはされていない様子だ。

だが、裏社会ではその頭脳と洞察力を評価され、勧誘しようという組織は少なくない。

項目2：黒服 指定特技：召喚

公開タイミング：異音フェイズ

安藤が接触していた黒服は、『深淵』と名乗り、魔術結社『クトゥルフの眼』という組織に所属している。

憑依術と召喚術に優れるが、その術には生贄を必要とする。

その証拠に、黒服と親しくしていた人物の多くは失踪しているとのうわさがある。

項目3：深淵の調査ができるようになる。

項目3：深淵 指定特技：命令

公開タイミング：項目2黒服を開示後

深淵は安藤について興味はないが、その知識に興味を持っている。

具体的にはPCたちのステータスを知るチャンスと考え、積極的に接触を持っている。

実は女性で安藤のアプローチには正直困っている。

【情報】ランク4

項目1：安藤の素性 指定特技：憑依

公開タイミング：異音フェイズ

某大学で生物分野の講座を受け持つ准教授。霊感じみた勘と洞察力を持ち、興味があることには一直線という人間。

そのため女房に愛想を尽かされてバツ1。黒服に好意を寄せているが、相手にはされていない様子だ。

だが、裏社会ではその頭脳と洞察力を評価され、勧誘しようという組織は少なくない。

項目2：黒服 指定特技：召喚

公開タイミング：異音フェイズ

安藤が接触していた黒服は、『深淵』と名乗り、魔術結社『クトゥルフの眼』という組織に所属している。

憑依術と召喚術に優れるが、その術には生贄を必要とする。

その証拠に、黒服と親しくしていた人物の多くは失踪しているとのうわさがある。

項目 3 : 深淵の調査ができるようになる。

項目 3 : 深淵 指定特技 : 命令

公開タイミング : 項目 2 黒服開示後

深淵は安藤について興味はないが、その知識に興味を持っている。

具体的には PC たちのステータスを知るチャンスと考え、積極的に接触を持っている。

項目 4 : 深淵の秘密を調査できる。

項目 4 : 深淵の秘密 指定特技 : 命令

公開タイミング : 項目 3 深淵開示後

実は女だ。

安藤と接触が最近増え、どうしたものかと悩んでいる。

【情報】 PC 5 名

項目 1 : 安藤の素性 指定特技 : 憑依

某大学で生物分野の講座を受け持つ准教授。霊感じみた勘と洞察力を持ち、興味があることには一直線という人間。

そのため女房に愛想を尽かされてバツ 1。

だが、裏社会ではその頭脳と洞察力を評価され、勧誘しようという組織は少なくない。

項目 2 : 安藤の秘密を調査できるようになる。

項目 2 : 安藤の秘密 指定特技 : 憑依

項目 1 を開示後、調査できる。

実は黒服の人物にひそかに好意を寄せている。

項目 3 : 黒服 指定特技 : 召喚

安藤が接触していた黒服は、『深淵』と名乗り、魔術結社『クトゥルフの眼』という組織に所属している。

憑依術と召喚術に優れるが、その術には生贄を必要とする。

その証拠に、黒服と親しくしていた人物の多くは失踪しているとのうわさがある。

項目 4 : 深淵の調査ができるようになる。

項目 4 : 深淵 指定特技 : 命令

項目 3 を開示後、調査できる。

深淵は安藤について興味はないが、その知識に興味を持っている。

具体的には PC たちのステータスを知るチャンスと考え、積極的に接触を持っている。

項目 5 : 深淵の秘密を調査できる。

項目 5 : 深淵の秘密 指定特技 : 命令

実は女だ。

安藤と接触が最近増え、どうしたものかと悩んでいる。

画像はジュエルセイバーFREEからお借りしています。

URL : <http://www.jewel-s.jp/>